

天満屋倉敷店 2014年1月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
1/3(金)～1/9(木)	<p><small>びぜんやき こばしまさあきさくとうてん</small> 備前焼 小橋順明作陶展</p> <p>香川大学と同大学院で美術陶芸を専攻し、1997年より現代陶芸家の倉石文雄に、2002年からは鷹取閑山に師事。食器を中心に製作し、急須を得意とする。先頃フランスで穴窯を築窯し、グループ展を開始し話題になった作家集団「けらもす」の一員でもあります。今回は急須をはじめ花入れ、茶道具など新作約200点の出品を予定しております。</p>
1/10(金)～1/16(木)	<p><small>てんじんがま にんてん</small> 天神窯3人展</p> <p>中国古陶磁の科学的研究をした陶芸家 岡本欣三の薫陶を受けて倉敷で育った岡本先生。兄妹とその息子3人の作陶に対する情熱と仕事ぶりは、数多くの愛好家に支持されています。製作品は花瓶、皿、茶碗、置物などで、釉薬は玳瑁蓋天目、青磁、白磁、辰砂をはじめ、瑠璃、染付、赤絵、彩瓷など多種多様な組み合わせで天神窯ならではの作陶がみられます。ぜひご高覧くださいませ。なお会期中、作家は来場予定でございます。</p>
1/17(金)～1/23(木)	<p><small>ごうばらしっきてん</small> 郷原漆器展</p> <p>岡山では平成元年に、戦後途絶えてしまった600年の伝統をもつ「郷原漆器」が復興しました。一時は衰退した非常に高い「備中漆」を甦らせ、同時に漆掻き後継者も育成し、いまや日本の漆文化を守っていく一端を担っています。今年も誰もが使って、味わうことのできる漆作品を多数出展いたします。もちろん若手木地氏高月氏の仕上げた木地に、郷原漆器高山先生が漆を塗った作品もございます。椀物中心に約150点の展覧予定でございます。</p>
1/24(金)～1/30(木)	<p><small>ばんが にんてん おがたけん しよ てがみてん</small> 版画3人展と緒形拳の書と手紙展</p> <p>08年に71歳で亡くなった俳優の緒形拳さんが、ロケ先などから出した絵手紙や書など約100点を展示いたします。手を大きく広げる緒形さんのパネルが来場者を迎える会場では、四季折々の絵と短い言葉で表現した絵手紙が皆様に何かを語りかけるでしょう。ほかに人気版画家である、クリフトン・W・カーフ、渡辺俊明、三村治男の展示も同時開催いたします。</p>
1/31(金)～2/6(木)	<p><small>いのち こんげん うた ふかさわ ゆきおさくひんてん</small> 命の根源を謳う 深沢 幸雄作品展</p> <p>深沢幸雄(1924～)は、日本を代表する銅版画の巨匠として、今日ゆるぎない存在となっています。一方、書、ガラス絵については以前から深い関心を持ち、永年深沢の胸中であたためられ熟成され生まれ出たものといえます。ガラス絵、銅版画、墨書、パステル画など、30余点の多彩な深沢幸雄の表現世界をお楽しみください。</p>

営業時間 10:00～19:30

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

※1/1 店休日

※1/2・3 10:00～19:00

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136